

防災が当たり前の暮らしへ

市内一斉防災訓練を振り返って

昨年度に引き続き、自宅を会場とする「**おうちで防災訓練**」と各地域が企画する「**地域企画訓練**」の2本立てで11月16日(日)に市内一斉防災訓練を実施し、多くの人に参加いただきました。

いつ起きるかわからない災害。今回の訓練を振り返るとともに、「我が家は無事です」と自信を持って掲示できるよう今すぐできる備えをしませんか？

🏠 おうちで防災訓練

9:00の防災行政無線や安心メールプラスでのお知らせを合図に、各家庭で身を守るための行動(シェイクアウト訓練)や安否の届出等を行いました。

安否札の届出は、近所に助けを求めるサインとなります



🏘️ 地域企画訓練

「おうちで防災訓練」で届出された安否のカウンターのほか、各地域でさまざまな訓練が企画・実施されました。

有識者による講演
西小学校区



AED使用説明 岡市が洞小学校区



バッククッキング 東小学校区

💬 参加団体からのコメント

愛知医科大学看護学部附属ヘルスケア共創センター 地域連携部門

今回は、市が洞小学校区の地域企画訓練に参加しました。本年度は、事前に訓練の目的や手順を住民の皆さまに周知したことにより、防災意識の高い人を中心に参加いただけたと感じています。

今後は、より多くの人が続いて関心を持てるよう、参加意欲の維持とさらなる啓発が重要な課題であると考えています。

引き続き、地域の防災力向上に向けて取り組んでいきます。

社会福祉協議会 地域支援チーム

東小学校区CSWとして日頃市民の皆さまと接する機会に、「避難所まで遠くて行けない」「旧来の地区と新しい地区で情報の共有ができていないと感じる」「誰かがなんとかしてくれると考えている人が多い」といった声を聞きます。

これは市全域に共通する課題ではないでしょうか。

東小校区では市内一斉防災訓練に合わせて防災教室を開催しましたが、参加者は一部の地区の人が中心でした。

1人ひとりや各組織が「自助」と「互助」の意識を高めることが大規模災害に対する備えとして大切であり、そういった地域作りが重要であると感じています。



自分の身は自分で守る自助の取組

いつも(平常時)ともしも(災害時)を切り分けない「フェーズフリー」の考え方で防災に取り組むことが大切です。

最低3日分、できれば1週間分の備蓄品を

大規模災害時、最初の3日間は救助・救命が最優先されます。電気や水道などのライフライン機能が低下することもあるため、日頃から少し多めに買って備蓄しましょう。

古いものから消費し、減った分を買い足すことで、常に一定数を備蓄する「ローリングストック」という方法をご紹介します。

ローリングストックのメリット

- 賞味期限・消費期限切れを防ぐ
- 災害時も普段から食べ慣れたものが食べられる
- 省スペースに繋がる



暮らしの道具も備えのひとつに

キャンプグッズが災害時に活躍!

寝袋
災害時の睡眠の負担軽減に



バーナー、カセットコンロ
災害でガスが止まったときに



電気自動車が非常用電源として活躍!

※車種によりできない場合があります。



より詳しく知りたい人へ

災害時には何がどれくらい必要なの?



家の中の地震対策は?



地域で力を合わせる共助の取組

災害発生時、行政機関による支援＝公助だけでは限界があります。高齢者や障がい者、けがをした人などは自力での避難が困難になる場合があります。もしもの時に助け合いができるよう普段から地域とのつながり作りに取り組みましょう。

共助の取組例



普段からのあいさつ



地域の自主防災活動・防災訓練への参加



危険箇所・避難所の確認 ほか

📖 「みまもり台帳」を知っていますか? 岡 福祉政策課 ☎56-0639

本市では、災害時に自力での避難が困難な高齢者や障がい者などの情報を取りまとめて「みまもり台帳」を作成しています。事前登録を行うことで、災害時の安否確認や日頃からの見守り等に活用することができます。対象者には登録申請書を送付しますので、確認のうえ、2月27日(金)までに提出してください。

申請の際は、家族や身近な地域の人と、避難経路や緊急連絡先などを確認し、「自助」「共助」の取組を進めましょう。

📱 登録しておくで安心

地震や気象に関する防災情報を市公式LINEやメールで配信しています。いざという時に必要な情報が取得できるよう、今のうちに登録しておきましょう。

